

令和6年3月7日(木)

## 「自分の一歩」

今日は、宮澤章二さんの詩集「行為の意味 青春前後のきみたちに」の詩を紹介します。

いま わたしの踏みしめる一歩は  
だれか他の人の一歩ではない  
わたしの足が地上に刻む一歩は  
いつでも わたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先に行くからといって  
他の人より優れているとは限らない  
他の人より一歩後を歩くからといって  
他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩きだしたのだから  
自分の一歩をしっかりと信じて進もう  
…その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には〈人生〉など まだない  
到着点にこそ わが〈人生〉はあるのだ  
歩きつづけ生きぬいた尊い証明として